

GO FLY

新北島中学校
学年通信 No14
2020.05.14. 発行



次回登校日から持ってくるもの

健康観察表

- 【国語】 2年生の教科書 ノート 筆記用具
- 【社会】 4冊の宿題を出せていない人は必ず提出！ 筆記用具（赤ペン）
- 【数学】 2年生の教科書 ノート 問題集 筆記用具
- 【理科】 1年生の教科書 ファイル 筆記用具
- 【英語】 2年生の教科書 ノート 筆記用具（マイネーム必要）
- 【学活】 生徒手帳（オリエンテーション用） 筆記用具



「常にやれることをやろうとした自分がいた。それに対して準備ができた自分がいたことを誇りに思います」。プロ野球とメジャーで通算4367安打を放ったスーパースター、イチローのことばです。試合にのぞむ前の準備の大切さを説いていて、編集長の好きなことばのひとつです。彼はずっとこのスタイルを貫いてきました。結果よりも準備に重きを置いていたのです。

週2回程度の登校日が設定され、いよいよ学校が再開にむけて動き出しました。これまでの休業期間、先生たちは何をしていたのか。先生たちは休業中の課題づくりに追われてきましたが、「時間のある日は、一つひとつの仕事をていねいにすすめることができた」と、以前の学年通信に書いてきました。

きょう、みなさんは教室に入って何かを感じたでしょうか。何も感じなかった・・・そうかもしれませんね。だって何もかわっていない、ただの教室なんですから・・・でも、編集長は知っています。黙々とひとりでそうじをする先生がいたことを。ある先生は床を水拭きして徹底的に教室をきれいにしていたことを。高いところの窓ガラスも、換気扇も、すべての教室で、普通ではやらないところまで、徹底的にそうじがなされてきました。土足で教室に踏み入れるのがためらわれるほどでした。そんなことをして何になるの？

わたしたちは、これこそイチローの言う「準備の準備」だと考えるからです。授業をするためには当然準備が必要です。しかしプリントをつくるなどの準備だけではなく、その授業をおこなう教室の環境が整っているのか、みなさんが気持ちよく授業をうけられる環境が整っているのかという基礎的なところを見直して、準備の準備をすすめてきたのです。

さあ、これから安打の量産です！

